

令和2年度 国語科

教科	国語科	科目	国語総合A	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	国語総合改訂版 現代文編 (大修館書店)						
副教材等	最新国語便覧 (浜島書店) 入試頻出漢字+現代文重要語 TOP2500 (いいずな書店) LT 現代文2 浜島書店						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な文章を的確に「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」を身につけてください。</li> <li>・1年生では、代表的な評論・随筆・小説を使って、どのように読み解いていくのか学習します。また、それをもとに「書く」「話す・聞く」ことに取り組んでいきます。</li> <li>・語彙力を高めましょう。そのためにも、辞書を引く習慣を身につけましょう。</li> <li>・疑問点を授業内で解決できるように、集中して授業を受けましょう。</li> <li>・国語総合Aでは、理解を深めるために話し合いや文章記述、発表など、アクティブな活動を取り入れた授業を行うことがあります。積極的に参加しましょう。</li> <li>・提出物の期限は守りましょう。</li> <li>・小テスト (漢字・語彙・文学史など)、定期テストは学習計画を立てて臨んでください。</li> </ul>
--

2 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や場に応じた的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。</li> <li>・目的や場にあふさわしい語句を選んで、適切に考えや思いを表現・伝達することができる。</li> <li>・人間関係において、相手を尊重しつつ相互の理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。</li> <li>・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。</li> </ul>
---

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 話す・聞く能力	c: 書く能力	d: 読む能力	e: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりについて理解し、知識を身につけている。
評 価 方 法	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等)	行動の観察 (発表等のパフォーマンスの評 価)	記述の確認及び 分析 (ワークシート、原稿用紙)	記述の確認及び 分析 (ワークシート) 定期考査	行動の観察 記述の確認 (ノート) 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
四月	随想の内容を理解する	【近代以降】 随想『おまえはやって来た』	○			◎	○	a: 考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえようとする。 d: 考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえている。 e: 正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a: 行動の観察 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト及び定期考査
五月	評論の内容を理解する	【近代以降】 評論『水の東西』 評論『自由な主体に必要な「尋ねあい」』	○			◎	○	a: 文章の論理展開を追いながら、その論旨を正確に読み取ろうとする。 d: 文章の論理展開を追いながら、その論旨を正確に読み取っている。 e: 正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a: 行動の観察及び記述の点検 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト及び定期考査
六月	小説の内容を理解する	【近代以降】 小説『羅生門』	○			◎	○	a: ストーリーの展開がどのように描かれているのかを意識しながら読もうとしている。 d: ストーリーの展開がどのように描かれているのかを意識しながら読んでいる。 e: 正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やすとともに、作者について理解を深める。	a: 行動の観察及び記述の点検 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト及び定期考査

七月・八月	短詩形文学を味わう短歌・俳句・詩	【近代以降】 教科書に掲載された俳句と短歌及び詩 『鶯のうへ』 『一つのメルヘン』 『自分の感受性くらい』 他	○			◎	○	a : 表現についての理解を深め、言語感覚を磨き、豊かな感受性を養おうとしている。 d : 表現についての理解を深め、言語感覚を磨き、豊かな感受性が養えている。 e : 近代短歌・俳句・詩の代表的な作者・作品について、理解を深める。	a: 行動の観察及び記述の点検 d : 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト及び定期考査
九月	小説の内容を理解する	【近代以降】 小説『鏡』 小説『コート』	○	◎			○	a : 作中人物の心理や思考を丁寧に読み解いて理解しようとしている。 b : 自分が読み解いた作中人物の心理や思考を相手に伝えることができ、また相手の意見をしっかりと聞くことができる。 e : 正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a: 行動の観察及び記述の点検 b : 行動の観察 e: 小テスト及び定期考査
十月	評論の内容を理解する	【近代以降】 評論『空気を読む』 評論『自然と人間の間をとおして考える』	○			◎	○	a : 具体例を的確に読み取り、筆者の主張へと集約されていることを意識して読み取ろうとしている。 d : 具体例を的確に読み取り、筆者の主張へと集約されていることを意識して読み取れている。 e : 正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a: 行動の観察及び記述の点検 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト及び定期考査

十一月	小説の内容を理解する	【近代以降】 小説『夢十夜』 小説『城の崎にて』	○					○	◎	○	<p>a: 人、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。</p> <p>d: 人、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。</p> <p>e: 正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やすとともに、作者について理解を深める。</p>	<p>a: 行動の観察及び記述の点検</p> <p>d: 記述の確認及び定期考査</p> <p>e: 小テスト及び定期考査</p>
十二月	自分の意見を書く	【近代以降】 評論『「かわいい」現象』	○					◎		○	<p>a: 筆者の意見を的確に読み取ったうえで、自分の意見を持ち、適切に書くようとしている。</p> <p>c: 筆者の意見を的確に読み取ったうえで、自分の意見を持ち、適切に書くことができる。</p> <p>e: 正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。</p>	<p>a: 行動の観察</p> <p>c: 記述の確認及び定期考査</p> <p>e: 小テスト及び定期考査</p>
一月・二月	評論の内容を理解する	【近代以降】 評論『消費されるスポーツ』 評論『白』	○					◎		○	<p>a: 文章の論理展開を追いながら、全体の構成を把握しようとしている。</p> <p>d: 文章の論理展開を追いながら、全体の構成を把握できている。</p> <p>e: 正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。</p>	<p>a: 行動の観察及び記述の点検</p> <p>d: 記述の確認及び定期考査</p> <p>e: 小テスト及び定期考査</p>

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度      b: 話す・聞く能力      c: 書く能力  
 d: 読む能力                                      e: 知識・理解

※ 評価の観点のうち「a: 関心・意欲・態度」と「e: 知識・理解」については、すべての単元に位置づけて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「b: 話す・聞く能力」「c: 書く能力」「d: 読む能力」）に関わる観点には◎を付している。